

8 審議の内容	
事務局・環境政策課課長補佐	<p>ただいまから第1回長岡市環境審議会を開催いたします。</p> <p>なお、本日まで出席いただいております委員の皆様は、資料No.1の委員名簿のとおりでございます。環境審議会委員15名中、出席者11名、欠席者4名であることから、長岡市環境審議会規則により、委員の半数以上の出席を満たしておりますので、本審議会が成立していることをご報告いたします。</p> <p>それでは、お手元の次第に沿って、進行させていただきます。</p> <p>次第の2、環境部長よりごあいさつ申し上げます。</p>
事務局・環境部長	(あいさつ)
事務局・環境政策課課長補佐	それでは、ここからの進行につきましては、会長よりお願いいたします。
会長	本日は議事の運営にご協力いただければと思います。それでは、次第に従いまして、「3 議事(1)令和5年度版 環境に関する年次報告書(案)」について、事務局からご説明をお願いいたします。
事務局・環境政策課長、環境政策課係長	(資料により説明)
会長	ただいまご説明いただきました、資料3「環境に関する年次報告書(案)」について、ご意見やご質問がありましたら、お願いしたいと思います。いかがでしょうか。
委員	本日、説明にはありませんでしたが、以前お伝えした光害の話も入れていただきありがとうございます。「広告物・街路・屋外照明等の光害対策ガイドラインの周知・利用」とのことですが、具体的に市で実施したことを教えていただけますか。
事務局・環境政策課長	環境基本計画の中間見直しの中で入れさせていただいたのですが、具体的な市民への働きかけやガイドラインについてはこれから整理をしていきます。最短で秋に発行する環境情報誌で、光害と化学物質について周知したいと考えております。
会長	説明にはありませんでしたが、今お話があった環境情報誌は、年に2回発行しております。令和4年度にリニューアルしたことが年次報告書の9ページに書いてあります。
委員	7ページの、「ヒートアイランド現象の緩和」において「ア 透水性舗装の推進」について記載してありますが、透水性舗装は様々な種類があると思うので、どのような透水性舗装を行ったのかが記載されるとわかりやすいと思います。

	<p>また、全体に感じたことですが、とりまとめや表記の方法として、取組に対して期待されている効果や結果などの方向性を記載してもらえると良いと思います。</p> <p>さらに、学校教育について、例えば23ページの「イ 『トキと自然の学習館』の運営」における講座の参加人数を見ると、この倍以上の参加者数になっても良いのではと感じます。これは長岡市域全体の学校の環境教育の中で取り組まれていることとするならば、3桁程になるのではないのでしょうか。ほかの行事も同様で、参加者が少なすぎるのではないのでしょうか。せっかく実施しているので、教育委員会や学校とより連携をとれるのではないかと思います。その点を確認したいです。</p>
事務局・環境政策課長	<p>ありがとうございます。1つ目の透水性舗装と、2つ目の全体の表記の方法については、今ご指摘をいただいた内容について、もう一度見直しをしたいと思います。</p> <p>23ページの「イ 『トキと自然の学習館』の運営」についてですが、学校以外の取組として、環境教育講座の開催状況を記載しております。実際には小学校等から、授業の一環として、この「トキと自然の学習館」にかなりの人数でお越しにいただいております、記載されておりました。今ご指摘いただいたように、市内外から3桁の数の参加者にきていただいております。この部分に追記させていただきたいと思っております。</p>
会長	<p>では、記載を加えていただきたいと思います。</p> <p>それから、透水性舗装については、公園等も含めて相当量が行われているはずですが、土木部や都市整備部等の管轄のため環境部では把握していないと思います。今後は、どの程度、増加するかを把握することも大事かと思っておりますので、よろしくをお願いします。</p>
オブザーバー	<p>あとほかにございませんでしょうか。</p> <p>災害廃棄物に関しては、災害が発生しなければ記載することはないかと思いますが、69ページの「(参考資料2) 長岡市の環境行政の推移」において、平成30年3月に、長岡市災害廃棄物処理計画が策定されているため、災害廃棄物についても加えたほうが良いのではないかと思います。</p>
事務局・環境政策課長	<p>ご指摘ありがとうございます。加えさせていただきたいと思えます。</p>
会長	<p>それでは、加えていただくということでお願いいたします。ほかにかがでしょうか。</p>

委員	<p>先ほど、ヒートアイランド現象の話も出ましたが、ヒートアイランド現象の緩和という意味では、透水性舗装だけではなく、森林や公園等も取組にかかわってくるので、イメージ図がある方がわかりやすいのかと思います。</p> <p>もう1点、同じ7ページの「施策② 地球温暖化適応策の推進」の中に、ハザードマップに関する記載があります。長岡市は、洪水ハザードマップはありますが、内水ハザードマップは作成していないでしょうか。市内のどの箇所で内水ハザードマップを作成するかという問題もありますが、内水ハザードマップの作成は国に義務付けられているものの、実際は非常に費用がかかるという問題もあり、全国的に作成している市町村はまだ少ないようです。環境政策課の管轄ではないかと思いますが、内水ハザードマップの作成について担当課に確認されると同時に、近い将来に取組として設定する必要があるかと思います。</p>
会長	<p>7ページの「(4) ヒートアイランド現象の緩和」に、現象の緩和として追記すべき事項があれば、何かしらの形で加えていただきたいと思います。内水については、おそらく多くの部局で対応していると思われる。数年前に中島地区において内水被害が生じ、柿川放水路を設置して太田川へ流すようになったため、被害が生じないようになっているはず。土木部に話をいただければよろしいかと思います。一般的なハザードマップはありますが、内水は少なくとも私も聞いたことがありません。事務局から情報はあるでしょうか。</p>
事務局・環境部長	<p>昨年、都市整備部で立地適正化計画を策定しており、その際に、信濃川の中小河川、まさに市内河川が仮に洪水を起こした際に、どこまで水位が及ぶかというシミュレーションもしております。それらの結果を元に、今ご指摘の件について確認させていただきたいと思います。</p>
委員	<p>資料5ページの「ア 長岡市カーボンニュートラル チャレンジ戦略2050の策定」については、市の考えや方向性が示されており、非常にわかりやすいものと受け止めております。この戦略の進捗がこれから大事になっていく中で、ガス会社としてもしっかり連携していければと考えております。</p> <p>今回、戦略の内容が出ておりますが、策定されたプロジェクトの項目が多数あるかと思います。こちらも個別に、今後年次報告書の中で実績報告をしていくのでしょうか。</p>
事務局・環境政策課長	<p>記載方法等については、他の項目との兼ね合いがあるので未確定ですが、この年次報告書の中で報告を行い、進捗管理をしていきたいと考えています。</p>

副会長	<p>1点質問ですが、この年次報告書の中のタイトルの横に、所々で掲載されているSDGsのマークは何を意味しているのでしょうか。</p>
事務局・環境政策課長 委員	<p>年次報告書の4ページに「年次報告書で示すアイコン」として、SDGsのマークは、評価指標に関する項目を示す旨を記載しております。</p> <p>年次報告書の3ページの表1、2の「温室効果ガス排出量」の基準年度が2013年度となっておりますが、この年度は変更になることはないのでしょうか。</p>
事務局・環境政策課長 委員	<p>この基準年度は国に合わせているため、国の動きに合わせて変えていくことになると思われます。</p> <p>表2の「市役所における温室効果ガス排出量（事務事業編）」では、すでに目標値を達成できているのですが、今後も目標値は変わらないということでしょうか。</p>
事務局・環境政策課長 委員	<p>表2の最新値がリバウンドしないようにしていきたいところです。昨年環境基本計画の中間見直しの際に見直しを行っていない箇所ですが、今年度議論する地球温暖化対策実行計画の改定で、温室効果ガス排出量の目標値は、より高みを目指したものに変わっていきたくと思っています。</p> <p>すでに2018年度の時点で目標値を達成し、それ以降、達成し続けているので、目標値が変わらないと疑問を感じる人もいないのでしょうか。その点について、説明が追記されると良いのではないかと思います。</p>
	<p>また、表1の「長岡市域における温室効果ガス排出量（区域施策編）」についてですが、2030年の目標値に対して、今の推移からあと7年後に達成するイメージがなかなかつかないと思います。おそらく5ページの「再生可能エネルギーの導入状況と2030年度における導入目標」にある太陽光発電が大きな鍵になることを前提に、2030年の目標値を設定していると認識しています。5ページの導入目標を見ると、事業者向けの太陽光発電の件数が10倍になっていますが、10倍とした理由は何でしょうか。前回も発言しましたが、グリーンウォッシュ（グリーンの偽り）という世界での動きがあり、日本の企業もバッシングを受けている状況です。そこで、行政が10倍を目標とした理由をはっきりと示さないと、この表だけではおそらく事業者は納得できないように感じます。理由がわかると、もっと良くなるのかと思います。</p> <p>それから、些末なことですが、先ほど副会長も言われたSDGsの目標のアイコンの数字が小さくて見えません。PCでも見えないので、紙媒体になったときに見えるのが心配です。もう少し大きくしたり、</p>

<p>会長</p>	<p>工夫したりして、はっきり見えるようになると、取組とSDG sの目標が関連づけられるのかと思います。今の時点で、このSDG sの目標と取組が繋がっていないように見えたため気になりました。</p> <p>ありがとうございました。ご質問が3つあったと思いますが、事務局から何か情報はございますか。</p>
<p>事務局・環境政策課長</p>	<p>今ほどご指摘いただいたSDG sのアイコンや目標の数字の見せ方については、もう少し大きい文字になるよう見直しをしたいと思います。また、アイコン自体がこのままで良いかについても、ご指摘を踏まえて、検討させていただけたらと思っております。</p> <p>カーボンニュートラルの2030年に向けた目標に関しては、太陽光発電をどの程度導入しなければいけないのかについて、表記の方法を工夫したいと思っております。10倍にすることは、例えば東山のスキー場が何個分と言ったような表現の仕方もあると思います。国に合わせた46%削減を達成するために、今現在、最短で導入できる太陽光発電のみで対応しようとする、相当な面積が必要だということです。</p> <p>この目標に向けたCO₂排出量の削減にあたっては、太陽光発電と並行して天然ガスの活用やカーボンニュートラルの電気の導入など、さまざまな取り組みを行いながら、2030年に向けての道のりをまた見直していく必要がいずれ出てくるだろうとは思っています。</p>
<p>委員</p>	<p>もう1点、5ページの導入目標において、陸上風力発電が1件から2件に増えることで、ここまで設備容量が大きくなってしまいう理由があるのでしょうか。</p>
<p>事務局・環境政策課長</p>	<p>三島と出雲崎の山あいで大規模な風力発電の計画が動いており、現在、環境アセスメントを実施している最中です。こちらが稼働を開始すると、導入目標に記載のとおり、相当な設備容量が確保できるということです。</p>
<p>委員</p>	<p>そういった事情も記載したほうが良いと思います。1件から2件に増えただけで、大幅に数字が変わってしまうというのは不自然に見えます。</p>
<p>会長</p>	<p>1基という意味ではなく、開発件数が1件という書き方になっていると思います。1基増加するだけでは、おそらくここまで大幅に設備容量は増加しないので、風力発電施設を何基導入するのかわかりませんが、年次報告書では、数値が大幅に増加することが理解できるように説明していただければと思います。</p> <p>それから、委員がおっしゃった3ページの表2「市役所における温室効果ガス排出量（事務事業編）」の目標値ですが、あれは目標設定を</p>

委員	<p>行ったのが相当前だと思いますので、目標設定年がわかれば理解していただけるのではないかと思います。</p> <p>あと太陽光発電の導入目標の根拠については、なかなか難しいところだと思います。他自治体でも難しいところがあると思いますが、太陽発電については、長岡市は雪国型の太陽光発電として、長岡技術科学大学と協力して実証されるという話もありますので、そういった現状も加味して書いていただければよろしいかと思います。</p> <p>年次報告書の59ページの「子ども達への環境学習の場の創出」に関するところですが、子どもが環境に関しての教養を身に着けて、それを自宅において親が指導を受けるという図式はよくあるかと思っています。新型コロナウイルス感染症に関する行動制限が緩和され、各学校も校外学習や、集団での学習の場が増えてきているのかなと思いますが、年次報告書に、市が行っている取組に加えて、例えばどの学校がどのごみ処理場に来て校外学習を受けたなど、学校の具体的な例が記載されていると、より学校から家庭へ浸透していくのかなと思いました。</p> <p>また、節水に関する取組もあるので、ごみ処理施設だけではなく浄水場もありますし、校外学習についての記載を追加していただければ、よりわかりやすいかなと感じました。</p>
会長	<p>ありがとうございます。新型コロナウイルス感染症が5類になった段階で、校外学習もできることが増えてきていると思います。去年は、まだ少なかったのでしょうか。次年度からは、2019年以前と比較して整理できるようにしていただくというのはいかがでしょうか。</p>
事務局・環境政策課長	<p>ありがとうございます。60ページの後段の「ごみ処理施設等の見学会の実施」で、学校関係は28件の見学があったことなどに触れてはいるのですが、今ほどご指摘いただいた、学校名を入れるなど表記の方法については検討させていただければと思います。</p>
会長	<p>ありがとうございます。ほかにございませんでしょうか。貴重なご意見を多く賜りましたので、反映するべきところは修正し、この報告書（案）を報告書として作成、認めていただくということで、皆さんよろしいでしょうか。</p> <p>それでは、ご承認いただきましたので、議事1はこれで終了させていただきます。</p> <p>それでは、議事を続けたいと思います。議事の（2）長岡市地球温暖化対策実行計画の改定について事務局から説明をお願いします。</p>
事務局・環境政策	<p>（資料により説明）</p>

<p>課長 会長</p>	<p>それでは、説明いただいた資料4について、ご意見等頂きたいと思 います。特に資料No.4-1の「4 改定に向けた論点」についてです。 特に資料No.4-1の「5 計画改定のスケジュール（予定）」にある通 り、今回のメンバーでご議論させていただくのは最後になります。こ こで議論した内容を含めて、新しい委員が環境審議会で審議すること になるかと思ひます。そこに引き継ぐことを前提に、地球温暖化に向 けて今後どういった視点が大事と考えられるかをお話しいただければ と思ひます。それが結果的に地球温暖化対策につながってきます。地 球温暖化対策実行計画全般についてご意見頂いても結構かと思ひま す。どうかよろしくお願ひいたします。いかがでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>説明していただいて、第1章から第5章の内容は理解できたので すが、問題は第6章以降だと思ひます。特に、第6章の市全域における 地球温暖化対策は、市内の各地域の環境に合致した内容とし、そこに 住む市民の皆さんが意識を持って自主的に取り組むことで、具体的に 対策を推進していけるようにまとめていただければと思ひます。</p> <p>例えば、海辺や里山の環境問題、中小河川や農地、住宅の問題など、 様々な問題があると思うのですが、だからこそ、市民が将来に向けて 自らやらねばならないという危機感を持ちながら取り組める内容に仕上 げていただけるとありがたいです。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。これはご意見としてお聞きしておけばよろ しいでしょうか。ほかに、皆様いかがでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>6月の初旬に内水氾濫あるいは越流による水害の被災地をいくつか 訪れ感じたのですが。当然水は低いところへ集まるので、都市化や宅 地化が進みすぎると田んぼなどの水の行き場がなくなり、水害が生じ てしまいます。また、被災すると大量の廃棄物が生じて、場所によっ ては毎年のように床上浸水する場所も出てきます。</p> <p>農家数は減少するかもしれませんが、やはり、土地利用として今あ る農地、特に田んぼは大事な資源として維持していく必要はあると思 ったところです。</p> <p>降水量はコントロールできませんが、現在行っている地域での取組 としては、家の敷地の庭の中に染み込ませたりして、家庭や新しい商 業団地でもコンクリートで固めて外へ流出せずに対処したりしていま す。</p> <p>外水氾濫は難しいですが、平地の内水氾濫の被害は少し変わるので はないかと思ひます。今まで、雨が降ったら避難し、被災したら直す</p>

<p>会長</p>	<p>という流れでしたが、もう少し市民目線で水害への対応策や、資源としての水の活用など、水との様々な向き合い方があるとわかる取組があってもいいのかなと思いました。</p> <p>ありがとうございました。ほかに、いかがでしょうか。</p> <p>私からお話をさせていただきますが、計画の策定となると、市民向けだけでなく、行政や事業者向けのも一つにまとめるという話になります。市民が、これらが一つにまとまった計画に対して、自分たちにできる取組は何かを見てもおそらくわかりません。それをわかるように作成してほしいということですが、一般の市民の場合だと、エネルギーと最も関わりが出てくるのは、これからはおそらく住宅が最も大きな要素になってきます。ZEH（ゼッチ）やZEB（ゼブ）の周知や導入促進に向けた効果的な計画の作成方法については、本日はエネルギー関係の委員が2名おりますので、どのような手法があるのか、発言いただければよろしいかと思います。</p> <p>また、個人の場合は、自動車が最も大きな要素になります。ガソリンの使用はCO₂排出量への影響が非常に大きかったのですが、最近半減してきていることもあるので、自動車等の利用をどのようにしていくのか。公共交通の項目が出てきますが、個人を含めて、エネルギーの問題や地球温暖化対策といったときに、公共交通をどのように併用していくかということ、各自が協力できそうな方法で記述いただくとよろしいかなという感じは受けました。</p> <p>ほかにいかがでしょうか。</p>
<p>副会長</p>	<p>現状と課題の中で、まず温室効果ガスの全体的な把握について説明したほうがいいのかと思います。例えば温室効果ガスを出している原因は何かなど。その原因は複数あり、それぞれの割合や排出している理由は何かなど。理由や原因を示し、ではどうということをしていくのが大事かという流れで話を結びつけていただくとわかりやすくなるのかと思います。原因も、日本と外国の原因は異なるかもしれませんが、世界について説明した後に日本について説明するなど、理由や原因を明確にしたほうがいいのかと考えています。</p>
<p>会長 委員</p>	<p>ありがとうございます。ほかにいかがでしょうか。</p> <p>ほかの行政や市町村が様々な取組を行っていると思うのですが、その中に長岡市に合う事例や実績があると思います。事例や実績があるとわかりやすいと思いますし、むしろそれがないと思いつきでは新しい発想は出てきません。やはり、比較対象と言いますか、事例などがあるとそこから新しいことが生まれると思うので、その点を考慮し</p>

<p>会長</p>	<p>ていただけると良いと思います。</p> <p>ありがとうございます。確かに地球温暖化は、非常にマクロな議論になるので、市民目線で見ただけの場合にわかりづらいことはあるかもしれませんが。長岡市の場合であれば、エネルギーの観点で見ると、かなり前からてんぷら油の回収を先進的にやっておられる方がいます。今だと植物由来のジェット燃料のSAF（持続可能な航空燃料）は皆さんご存じだと思いますが。そういった取組や特殊なところを前に出すということでもよろしいでしょうか。</p>
<p>委員 会長 委員</p>	<p>小さなことから少しずつやっていけばいいと思います。</p> <p>ありがとうございます。ほかにいかがでしょう。何かございますか。</p> <p>私、この2年間委員をさせていただきましたが、非常に幅広く、奥深く、本当に難しいお話がたくさん出てきて、私にできることは何だろうとずっと思ってきました。主婦である私ができることは、3R、そして皆さんにお話しして普及させていくことです。日頃から、食生活改善推進と健康増進課のお手伝い、体操、健康体操、それとコミュニティセンターのお手伝いをさせていただいているのですが、そのときどきに、私たちがいかに自然の中で、自然がなければ暮らしていけないというお話を、少しずつさせていただいています。私がこの環境審議会の公募委員に応募したときには、レポートを書いて面接を受けました。その面接のときに、最後に質問されたことが、「あなたにとって自然とは」だったのです。私は、自然は自然で、そこまで深く考えていなかったのですが、どきっとして、しどろもどろにお答えしたことを覚えています。今、自然とはと聞かれば、私たちそのものだと答えます。太陽が上がって、起きて、頭の上に行って、お昼を食べて、沈んで、夕飯を食べて寝る。本当に自然の中で生かされているということをこの2年間で本当にしみじみ骨身に染みて思いました。</p> <p>難しいことはさておき、この自然の大切さを皆さんと一緒に考えて、これから委員を辞めても考えていけたらいいなと思うところです。</p>
<p>会長 委員</p>	<p>ありがとうございます。今のご意見を様々なところで取り入れていただければと思います。ほかにいかがでしょうか。</p> <p>資料No.4-1に、このたびの改定の背景が書かれていますが、「カーボンニュートラルチャレンジ戦略2050」を落とし込む旨が記載されているので、資料No.4-2の第6章の目標と取組は、これだけ立派なチャレンジ戦略があるわけですから、リンクするような形で、計画や取組を落とし込んでいき、より市民の方に広く理解できるような改訂版にさせていただけたらありがたいなと思います。</p>

委員	内容が非常に難しい部分が多いのですが、これは最終的に誰に向けた資料になるのでしょうか。
事務局・環境政策課長	最終的に、行政の取組、市民での取組、事業所での取組という形で、役割分担や方向性を示すものとします。そこに細かい施策、市で取り組むべき施策が記載できるようになればいいと考えています。
委員	これは誰に配布されるのでしょうか。
事務局・環境政策課長	市民の方、事業所の方、広くという形になります。
委員	市民全員に配るのですか。
事務局・環境政策課長	配り方については、環境基本計画の見直しと同じように、全ての世帯に配るというわけにはいきませんので、環境情報誌や市政だより、ホームページなど、さまざまな機会をとらえながら広く周知していくという形になります。イベントを利用することもあると思います。
委員	ありがとうございます。やはり、市政だよりは見る方が多いかと思えます。ぜひこの計画の簡単なバージョン、例えば長岡市はこう考えているから協力してください、といった部分を文章だけではなく、絵や漫画などで、子どもが読んでもわかるような形で伝えていただければと思います。一般の市民の方がこの計画を渡されても、恐らく読めない、読まないと思いますので、ぜひわかりやすいものも含めて作成するようお願いしたいと思えます。
会長	3月にできた環境基本計画の見直しについて、概要版等は小学生でもわかるように作成いただいていますし、配布についても、PDFデータがWeb上で見られるようにしていただければと思いますので、周知の仕方はまたご検討いただければと思います。ありがとうございます。ほかいかがでしょうか。
委員	これまでご議論されているところがあるのかと思いますが、気づきとしては、資料No.4-1にある「改定に向けた論点」の(1)から(7)は、各視点、大事なかなと思って見ていたところでございます。ただこの中身を見ると、例えばCO ₂ や温室効果ガスを減らすための視点（緩和策の視点）と、このまま地球温暖化が進むことを踏まえた上での熱中症対策やレジリエンス強化の視点（適応策の視点）が混在しているため、各視点をさらに大枠でまとめていただくと、もう少しわかりやすいかと思ったところです。
委員	学校教育課の方も来られているので、先ほど住宅が大事だという話が会長から出ましたが、今、小中学校で、家のつくりや断熱については、教材の中で教育されているのでしょうか。

事務局・学校教育 課指導主事	<p>学校教育の中だと、住みよい暮らしといったカリキュラムの中で、小学校では各国の住宅の比較を、中学校では衣食住の学習を技術・家庭科でやっています。また理科の教科書等では、小学校6年生、中学校3年生で、トータルの学習の最後に、環境について結びつけるような形で、住宅の中でのZEH（ゼッチ）の考え方などが若干出てきます。</p>
委員	<p>授業で扱っているという話は聞いたことがあったのですが、実際に水害で被害を受けたお宅に伺うと、家は完成品を買ってるという認識のようです。今の子ども世代はもう少し教育が行われているかもしれませんが、実際に家を購入している世代は、家のつくりに関する理解が、実はあまりなく住んでおられるので、小中学校でもう少しははっきり知らせるといいのかなという感じを受けました。</p>
会長	<p>あと、主婦の方の関心として、家計を、例えば電気代や食費を削減したいという中で、市が具体的に特定のメーカーについて言及できないと思いますが、高効率で優れた家電製品をうまく後押しできたり、実際に体験できる場があったりすると、非常に訴求力があるのかなと思いました。</p>
委員	<p>ありがとうございます。メーカーも含めてPRされているので、行政ばかりがという話ではないと思いますが、もう少し国も含めて議論がなされるようになってくるといいかなと思います。</p>
委員	<p>ほかにいかがでしょうか。</p>
会長	<p>資料No.4-1の「改定に向けた論点」(5)の「気候変動と生物多様性および生態系保全の関係をj知る機会を増やす視点」について、生物多様性の重要性も理解できますが、いわゆる一次産業、農業従事者の方が、農作物への害獣被害で非常に困っておられます。猟友会の皆さんも一生懸命頑張っているらしいですが、何かいい知恵はないのでしょうか。行政ではどうにもできないものなのではないでしょうか。</p>
委員	<p>長岡市も鳥獣被害対策課を立ち上げて、そちらで対応をやっておられると思います。ほかの市役所等でも、様々対策がとられています。環境のセクションも加わって取り組んでいくという形になってきております。</p>
委員	<p>電気柵で対策しておられる方もいますが、土地が広いので限りがあります。農作物を作っても、人間より先に動物の口に入ってしまうと、意欲も喪失します。30年後の昆虫食がもう目に見えているような現実ですので、農家の方が働いていてよかったという状況を、つくれるものならつくってほしいなと思います。</p>

<p>会長</p> <p>事務局・環境政策 課課長補佐</p>	<p>一次産業と動物等の関係というのは非常に難しいところがありまして、人間の居住エリアや耕作の方法も影響してくるという、自然との関係もありますので、またご議論していただければと思います。</p> <p>ほかによろしいでしょうか。それでは、今出していただいたご意見を踏まえて、地球温暖化対策実行計画の素案を出していただくということで、皆さんご承認いただけるでしょうか。</p> <p>ありがとうございます。ご承認いただきましたので、議事3についてはこれで終了ということにさせていただきます。</p> <p>次第にはその他という項目がございますが、皆さんからございますか。ないようでしたら、進行を事務局にお返しいたします。</p> <p>それでは、以上をもちまして、第1回長岡市環境審議会を終了させていただきます。皆様、2年間という任期を務めていただきまして、まことにありがとうございました。</p>
<p>9 会議資料</p>	<p>別添のとおり</p>